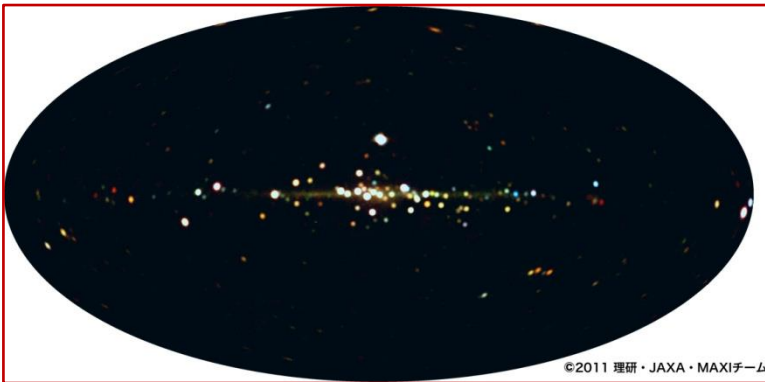


上田グループ

銀河進化の謎に迫る！！

このグループでは、**X線連星**や**活動銀河核**などの高エネルギー天体を対象とした研究や、銀河進化の解明を目指して活動銀河核の宇宙論的な進化についても研究を行っています。また、全天X線監視装置 (MAXI) の計画にも携わり、宇宙で起こる様々な活動現象について探っています。

MAXI は国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に設置されている**全天X線モニター**で、2009年7月16日に打ち上げられました。地球を90分ごとに周回しながら、全天を常時探査し、突発天体の発見などを行っています。



宇宙には可視光などでは検出できない分厚いトラスを持つ活動銀河核が多数存在することが示唆されています。我々はSwift衛星と「すざく」衛星のデータを用い、こうした活動銀河核を発見することに成功しました。



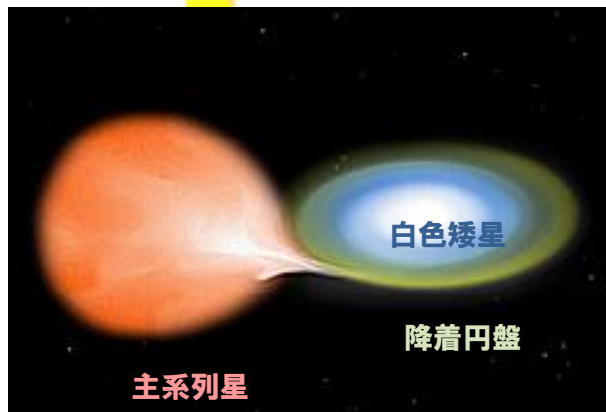
MAXI

40cm 望遠鏡

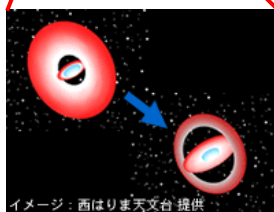


かなた望遠鏡 (広島大) で撮られた超新星

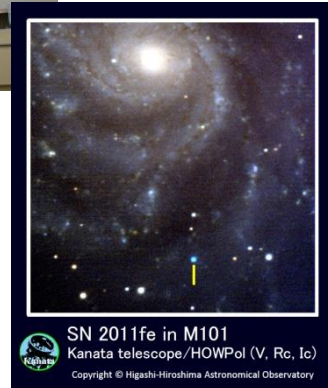
激変星や新星の模式図



主系列星から流れてきたガスが白色矮星の周りに降着円盤を形成します。降着円盤やガスが積もる白色矮星からは様々な変動の様子が観測されています。他にも太陽のように彩層活動を行うフレア星の観測も行っています。



Be星は星の周りに円盤を持ち、円盤は消失・形成すると考えられています。



このグループでは、激変星、新星、フレア星、超新星、Be星などの**変光星**を観測し、その物理に迫ろうとしています。激変星の観測には4号館屋上の**40cm望遠鏡**が活躍しています。

変動っておもしろい！！

野上・加藤グループ